2027 年度ドイツ語・異文化理解
EU キャンパスプログラム募集要項

ドイツ語・異文化理解ＥＵキャンパスプログラムは「全学共通教養教育科目」として提供される「セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ」、「Intercultural Studies」、「ＥＵキャンパス特別講義」の４科目、合計 14 単位で構成される教育プログラムです。本学の海外キャンパスであるＥＵキャンパスでのプログラムとなりますので、その特色を生かし、語学研修プログラムである「セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ」に加えて、テュービンゲン大学日本語学科の学生との共修科目である「Intercultural Studies」、ドイツ、ヨーロッパの先進的な取組みや諸課題を題材とした「ＥＵキャンパス特別講義」で科目を構成しています。

科目名	クラス	単位数	研修校・研修地	研修期間	担当者	募集人数	費用【予定額】
セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ	—	各４	テュービンゲン大学（ドイツ）	2027 年２月 28 日～８月６日	Bettina GILDENHARD	約15 名（最少催行人数：10名）	約 117 万円
Intercultural Studies	—	2			Regine DIETH		
EU キャンパス特別講義	001	2			Regine DIETH		
EU キャンパス特別講義	002	2			未定		

★ドイツ語・異文化理解ＥＵキャンパスプログラムの４科目は「全学共通教養教育科目」として提供され、所定の単位が取得できます。科目区分は、「セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ」が外国語教育科目、「Intercultural Studies」、「ＥＵキャンパス特別講義」が国際教養科目となります。科目登録は「ＥＵキャンパス特別講義」が２クラス開講となるため、合計 14 単位分のセット登録となる予定です。科目履修・単位の取扱い等の詳細については、各自、所属学部事務室で確認してください。

★費用は 15 名参加した場合の予定金額です。昨今の世界情勢や円安等の影響により、例年に比べて費用が高騰しています。今後も、世界情勢や為替の変動および航空運賃の高騰、その他プログラム費用等の変動により 5～15 万円前後、費用に変更が生じる可能性があります。なお、上記参加費に対し、別途奨学金が大学から給付されます。

★問合せ先

科目履修・教学に関すること
今出川校地：今出川キャンパス教務センター外国語教育科目窓口（良心館１階）
【TEL：075-251-3325　E-mail：ji-kyoyo@mail.doshisha.ac.jp】
京田辺校地：京田辺キャンパス教務センター外国語教育科目窓口（成心館１階）
【TEL：0774-65-7517】

海外渡航・費用に関すること
今出川校地 国際課（扶桑館１階）
【TEL：075-251-3260　E-mail：ji-kksai@mail.doshisha.ac.jp】
京田辺校地 国際課（嗣業館１階）
【TEL：0774-65-7066】

★募集説明会

今出川校地：2026年10月6日(火)　18:25～19:25　良心館　208教室
京田辺校地：2026年10月8日(木)　18:25～19:25　情報メディア館　301教室

★個別相談

・プログラムに関する疑問や質問などをプログラム担当者に相談できる機会です。
・個別相談を希望する場合はEメールにて事前にアポイントメントを取ってください。
・必ず、大学のメールアドレスから送ってください。個人のメールアドレスgmailなどは迷惑メールに振り分けられてしまうことがあります。

・担当者のメールアドレスは、下表を参照してください。
メールには3点を明記してください。《氏名・学生ID／ 相談内容／ 面接希望日時・校地》
メールのやり取りには迅速に対応してください。

・過年度の参加者の「アンケート」および「留学体験記」は、“Go Global Portfolio”上に掲載していますので、参考情報としてご活用ください。

■ 個別相談期間

2026年10月6日(火)9:00 ～ 2026年10月20日(火)12:00

担当教員・メールアドレス	今出川校地	京田辺校地
Bettina GILDENHARD bgildenh@mail.doshisha.ac.jp	メール対応 ※別日を希望する場合はメールで相談してください	木曜日３限 ※対面相談を希望する場合はメールで日程調整します

★Web出願受付

■出願受付期間：2026年10月6日(火)9:00～2026年10月20日(火)17:00

WEBにて出願受付をします。下記のURL（“Go Global Portfolio”）にアクセスしてください。

https://sso.doshisha.ac.jp/ → Web Single Sign-On → Go Global Portfolio
→ 短期留学プログラム→ WEB出願　　※手順は、P.13【短期留学】WEB出願 参照

■Web出願の注意点

・願書・志望理由書をWEBで出願してください。
・締切前はアクセスが集中しサイトに繋がりにくくなる恐れがあるので余裕を持って出願してください。

・一定時間を過ぎるとタイムアウトするのでこまめに保存してください。

・入力内容や出願書類に不備があった場合は、出願期間中に訂正してください。

・選考試験が10月24日（土）9:00～**（終了時刻は未定）**のため、土曜日に授業や大学主催の試験等がある場合は、WEB出願の願書フォームの「基本情報入力」画面内、「備考（資格等）」欄に校地・講時・授業科目名（試験名）を必ず入力してください。

■出願資格：

以下の１年次対象科目または２年次対象科目を登録中または履修済のレベルを目安とする。また、出願にあたり、外部語学能力試験の証明書提出は不要。

１年次対象科目は（入門Ⅰ・ⅡまたはインテンシヴⅠ・Ⅱ）

２年次対象科目は（応用１～4またはインテンシヴⅢ・Ⅳ）

なお、本学の初修外国語としてドイツ語を選択していないドイツ語既習者の場合も出願は可能です。

■対象：

原則として学部学生

■提 出 書 類:

①願　　書（WEB出願にて提出）

②志望理由書（WEB出願にて提出。テーマ・書式は下記参照。）

テ ー マ：プログラムへの志望理由について

書　　式：日本語で1,000字以内

★選考試験と結果発表

選考は、ドイツ語の試験（筆記および口頭）と面接試験（日本語で実施）により行います。
選考試験と結果発表の日程は以下の通りです。

■選考試験

・集合場所・教室発表 ：2026年10月23日（金）13:00～
Go Global Portfolio内“お知らせ”にて確認してください。

・実 施 日　　：2026年10月24日（土）【今出川校地で実施】
・集合時間・場所　：9:00 今出川キャンパス 良心館
・筆記試験　　：9:00～
・面接試験　　：ドイツ語の試験終了次第開始

※面接終了時刻は出願者数によって前後するため未定です。
※選考試験は、ドイツ語能力を測る筆記・口頭試験に加えて、本プログラムの志望理由を確認する面接（日本語で実施）試験を行います。

■結 果 発 表：2026年10月28日（水）13:00～
Go Global Portfolio内“お知らせ”にて合否を確認してください。

★参加費納入

プログラムへの参加が決定した方は、参加費を納入する必要があります。参加費用の納入は数回に分けて行いますが、具体的な納入金額と期限は参加決定者へ別途連絡します。
※プログラム費用の高騰を考慮し、納入いただく参加費用には予め数万円の予備費を含んでいます。差額が生じた場合は帰国後に返金します。

★合格者オリエンテーション

日時：2026 年 11 月 2 日（月）18:30～20：00 頃　※必ず出席すること
場所：今出川校地
※日時・場所は確定次第、対象者に連絡いたします。
合格者オリエンテーションにはパスポートをお持ちください。
有効期間が 2027 年 11 月 10 日以前の場合は、至急更新してください。

★出発前 危機管理オリエンテーション

日時：2027 年 1 月 17 日（日）予定　　※終日空けておくこと
場所：今出川校地　良心館 103 教室（RY103）
※プログラム参加者は、上記のオリエンテーションに必ず出席する必要があります。

★奨学金について

「ＥＵキャンパスプログラム履修者に対する奨学金」が設けられています。これは、プログラム費用のうち 200,000 円を奨学金として給付（返還不要）されるものです。詳細は参加が決まった方へ改めてお知らせいたします。

★科目登録について

選考試験合格者の科目登録は大学側で一括登録するため登録手続は不要です。2027 年度の春学期科目は、セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Intercultural Studies、ＥＵキャンパス特別講義をセットで登録します。

2027 年度の秋学期科目は 3 月下旬から 4 月上旬の登録期間中に DUET で登録を行ってください。ただし、登録期間中はドイツに渡航している期間となります。登録期間中に対面の対応を原則とするものについては、個別対応することができませんので、予めご了承ください。

★事前授業について

科目登録上の開講年度・学期は「2027 年度・春学期」ですが、事前授業は 3 月はじめの渡航日まで（例年 2 月頃）に実施されます。事前授業の開講校地、曜日講時は、決定次第お知らせします。

※事前授業には必ず出席すること。体調不良、やむを得ない事情により欠席の場合は必ず担当教員に事前連絡をしてください。
事前連絡なく欠席した場合はプログラム参加を取り消される場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、この際に発生するキャンセル費用は参加学生本人の負担となります。

★出願に当たっての注意事項

① グローバル・コミュニケーション学部日本語コース生、及び国際教育インスティテュート国際教養コース生は母語で実施されるプログラムに出願できません。

② セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Intercultural Studies、ＥＵキャンパス特別講義（全て 2027 年度春学期科目）を登録します。参加者の 2027 年度春学期の履修登録科目は上記科目のみとなり、他の科目の履修登録は原則認められません。なお、本プログラムへの参加により所属学部における進級要件等に影響が生じる可能性があります。進級制度のある学部に所属している場合は、出願前に必ず、所属学部事務室へ来室のうえ相談してください。
また、秋学期科目であっても、本プログラムの事前授業、及び現地研修と時間割重複、またはニ校地間移動不可が発生する科目は登録することはできません（例：2026 年度秋学期科目のスプリングプログラム、2026 年度秋学期科目の Freshman "Go Global" Program-51・52、2026 年度秋学期科目のセメスタープログラム（英語）等）。

③ 2027 年度の秋学期科目の登録は 3 月下旬から 4 月上旬の登録期間中に DUET で行ってください。ただし、登録期間中はドイツに渡航している期間となります。登録期間中に対面の対応を原則とするものについては、個別対応することができませんので、予めご了承ください。

④ **キャンセルは、基本的に認めません。**参加について十分に考慮し、保証人の方とよく相談した上で出願してください。合格発表後にキャンセルをされた場合、費用納入前であっても、キャンセルに伴う費用を納入いただきます。

⑤ 合格者数が最少催行人員に満たなかった場合、プログラムは実施されない可能性があります。参加者決定後、キャンセルにより参加者が最少催行人員を下回り、プログラムの開催が不可能となった場合も同様です。

⑥ プログラム出発前に、外務省の海外安全ホームページにて発表される危険情報または感染症危険情報で「レベル 2：不要不急の渡航は止めてください。」もしくはそれ以上が発出された場合、プログラムが中止となることがあります。その場合でも、納入いただいたプログラム参加費用の一部または全額をお返しできないことがあります。詳細は、参加決定後に連絡いたします。なお、プログラム開始後であっても大学長による帰国勧告等が出された場合は帰国しなければなりません。あらかじめご了承ください。
※外務省海外安全ホームページ＜https://www.anzen.mofa.go.jp/masters/risk.html＞

⑦ 世界情勢や為替レート、またスケジュールや参加人数の変更、航空運賃の高騰や感染対策などさまざまな要因により参加費用が変わることがあります。事情により金額不足が生じた場合は不足金額分を追加徴収させていただきます。逆に、実費が徴収した参加費用を下回った場合は差額を返金いたします。

⑧ 参加が決定した方は、同志社大学での事前授業と国際課が開催する危機管理オリエンテーションに必ず出席しなければなりません。出席しない場合、プログラムに参加できなくなることがありますのでご注意ください。その際発生するキャンセル費用はご自身で負担していただきます。

⑨ プログラム参加期間中は「在学扱い」であり、本学への学費の納入が必要となります。

⑩ 留学開始時の学年によっては、留学期間と就職活動の時期が重複する可能性があります。十分に考慮したうえで出願してください。

⑪ 参加者の中からリーダー・サブリーダーを選び、出発・帰国に際しては、参加者全員で団体行動をとります。単独行動は認められません。

⑫ 参加にあたっては、研修先機関の規則および本学の定める誓約事項を厳守してください。7ページおよび8ページの誓約内容を保証人（主に父母）の方にも共有し、事前の確認・了承した上でプログラムへの申し込みをしてください。
（誓約書はプログラム参加決定後にご提出いただきます。）

⑬ プログラムへの参加が決まった方は、健康診断証明書の提出が必要です。ただし、大学で行っている健康診断を受診した場合、保健センターと連携し情報収集が可能なため、健康診断証明書の提出は不要となります。大学で行っている健康診断を受診しなかった場合、あるいは保健センターと連携した情報収集を希望されない場合は、外部の医療機関等で健康診断を受けてください。その際の予約、健康診断証明書の発行はご自身で手配することになり、費用もご自身で負担いただきます。必要な受診項目は【身長・体重・視力・X線検査（胸部X線）・既往歴・備考】です。（様式は医療機関独自のもので構いません。）

⑭ 持病などで一定量の処方薬等の持ち込みを予定されている方は、厚生労働省の公式サイトや駐日ドイツ大使館／領事館、ドイツ税関の Web サイトなど※を事前に確認し、持ち込みが可能な薬であるかどうか、ご自身で確認した上で出願してください。（医師による）英文の診断書や処方箋、薬剤証明書等を準備することも有効ですので、出願前にかかりつけ医等にご相談されることを強くお薦めします。
※厚生労働省－海外渡航先への医薬品の携帯による持ち込み・持ち出しの手続きについて
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iyakuhin/yakubuturanyou/index_00005.html
※ドイツ連邦共和国大使館・総領事館－ドイツへの医薬品持込みについて
https://japan.diplo.de/ja-ja/service/2212544-2212544

⑮ 研修先機関で特別な配慮・支援が必要な場合は、事前に国際課にご相談ください。

⑯ ＥＵキャンパスプログラム（※）は全学部に開かれたプログラムであり、定員も限られていることから、できるだけ多くの学生の皆さんにプログラム参加の機会を提供するという観点により、過年度にＥＵキャンパスプログラム（※）に参加した学生の出願、および 2027 年度ヨーロピアン・スタディーズＥＵキャンパスプログラムとの併願はできません。
（※）ＥＵキャンパスプログラムは、ドイツ語異文化理解ＥＵキャンパスプログラムとヨーロピアン・スタディーズＥＵキャンパスプログラムの総称です。

下記の誓約内容について、出願前に学生本人および保護者が確認してください。
誓約書の提出は、学内選考合格後です（出願時には提出不要です）。
対象者には改めて、提出方法についてご連絡いたします。

「同志社大学ドイツ語・異文化理解 EU キャンパスプログラム」に関する誓約書

同志社大学長殿

私は、2027 年度同志社大学ドイツ語・異文化理解 EU キャンパスプログラム（以下、プログラムという。）に参加するにあたり、次の事項を誓約いたします。なお、誓約事項に反した場合は、プログラム参加学生の資格を取り消されることや、同志社大学（以下、本学という。）のサポートを受けられないことを承諾し、異議の申し立てはいたしません。

＜留学に対する心構え＞
1.プログラムの趣旨を十分理解し、研修先機関にて学業に精励すること。
2.プログラム参加決定後は本学が正当と認める理由以外での辞退は不可のため、十分理解のうえ参加すること。
3.渡航前に本学で実施される事前授業やオリエンテーション、説明会へ適切な理由無く欠席することや、課せられた課題・義務の履行を怠った場合にはプログラムへの参加を認めないことがあり、この際に生じるキャンセル費用は、参加学生本人の負担となること。
4.プログラムに伴う渡航期間中は、滞在国および日本の法令、本学の学則等諸規則を遵守するとともに、研修先機関の定める規則、指導教員、担当者等の指示に従い、滞在国の公序良俗に反することのないよう注意すること。
5.プログラム期間中は、本学の学生として本人の自覚と責任において行動すること。なお、プログラムに伴う渡航期間中、災害、暴動、テロ、事故、感染症、疾病、犯罪などによる損害について、本学に一切責任を問わないこと。
6.プログラム参加にあたっては、必ず本学指定の飛行機で渡航・帰国し、参加者全員での団体行動をとること。本学の責に帰さざる理由によって指定の飛行機に乗れず、それに伴い追加費用が発生した場合は、参加学生本人の負担となること。

＜手続き＞
7.プログラムに必要な諸手続き（研修先機関に提出する各種書類の作成、パスポートの取得、費用の支払い等）は事前に十分確認し、自らの責任において遅滞なく行うこと。
8.プログラムに際して、出発から帰国までの本学指定の海外旅行傷害保険、研修先機関指定の健康保険および留学生危機管理サービスに加入すること。
9.プログラムに伴う渡航期間中は必要に応じて、本学国際課への現地到着報告、近況報告等を行い、帰国後は速やかに指定された報告書・アンケート等を提出すること。

＜プログラムの中止・変更＞
10.研修先機関が所在する国（地域）の治安の悪化、災害、感染症等の発生状況によっては、本学及び研修先機関等の判断において、プログラムの中止または帰国勧告等を決定することがある。これらの事態等が生じる可能性を理解し、本学の指示に速やかに従うこと。また、これらの事態により発生する損害・負担について本学に一切請求をおこなわないこと。

＜危機管理＞
11.プログラムに伴う渡航期間中は、自動車・バイクの運転、また海外旅行保険が適用とならない危険を伴う運動は行わないこと。
12.休日に個人的な旅行をおこなう際にはプログラムの完遂に支障の無いよう十分注意すること。バーデン=ヴュルテンベルク州を離れる旅行は事前に EU キャンパスオフィスへ届け出ること。（プログラムの一環として実施する研修旅行を除く。）なお、個人的な旅行は自己責任にておこなうものであることを理解し、当該旅行において支出・損害が発生した場合には自己の責任で解決すること。

＜宿泊先＞
13.プログラムに伴う渡航期間中は、プログラムで定める宿泊先に滞在すること。なお、宿泊先の変更が生じた場合は逐次本学国際課へ連絡すること。
14.本誓約書別紙の宿泊先に関する注意事項を理解した上、プログラムに参加すること。

＜個人情報の提供＞
15.プログラムの運営や緊急時の対応のために、本学またはプログラム取扱業者へ届け出た学生本人および保証人の個人情報を、本学及び研修先機関（ホームステイ会社等を含む）、プログラム取扱業者、危機管理会社、海外旅行保険取扱業者が利用することに同意すること。
16.プログラムの運営、学生の安全確保、科目の成績評価等のために、研修先機関が取得した学業成績や期間中の生活情報等の個人情報を本学へ提供することに同意すること。また、これらの情報を必要に応じて本学および研修先機関、プログラム取扱業者や危機管理会社が共有することに同意すること。
17.危機管理会社のアシスタンスサービスを利用した際、危機管理会社へ提供した疾病やトラブルに関連する個人情報について、本学や危機管理の関係者に共有・利用されることに同意すること。

＜保証人の同意＞ ※ここでの保証人とは、学生が本プログラムを履修するにあたり、本学と連携し、学生を指導、支援する立場の方を指し、原則として父又は母のいずれか（父母のいない者は、これにかわる親戚等）とします。
18.本誓約内容及び募集要項の内容を保証人と共に確認し、両者が理解した上で、本プログラムに参加すること。

宿泊先に関する注意事項

＜プログラムの宿泊先について＞

・宿泊先の種類（ホームステイ、大学寮、ホテル等）は、プログラムの内容や研修先大学によって異なる。（詳細は募集要項のプログラム別説明で確認すること。）
・参加決定後、宿泊先や部屋の種類の希望（寮 or ホームステイ、一人部屋 or 二人部屋　等）を回答できる場合も、希望通りにはならない場合や、決定後も様々な事情により変更になる場合がある。

＜ホームステイに関する注意事項＞

・滞在中は「ゲスト（お客様）」としてふるまうのではなく、家族の一員として各家庭のハウスルールを守り、ホストファミリーとコミュニケーションをよくとり生活を共にすること。
・ホストファミリーの家庭環境やライフスタイルは画一的ではなく、家族構成（ホストが高齢、高齢の家族がいる、父子家庭、母子家庭、幼児がいる、同世代の異性の子供がいる、共働き、一人暮らし等々）、人種、食事（手作り、冷凍食品、参加者自身でホストファミリーが用意した食材で自炊）、自宅設備の新旧、大学までの通学距離は様々であること。また、これらを理由にホストファミリーを変更することは原則できないこと。
・ホームステイ申込時に、希望の家庭環境（幼児やペットの有無等）について記入できる場合も、必ずしも希望通りにはならない場合があること。
・同じプログラムに参加する同志社大学の学生や、他の日本人、他の国からの学生と同じホームステイ先になる場合があること（ベッドルームは一人一部屋確保される）。
・ホストファミリーの事情（急用、病気等）によりホームステイ先が出発前、滞在中にも変更となる場合があること。

＜大学寮に関する注意事項＞

・寮の築年数や部屋の大きさ、形、設備、大学からの距離は、寮によって異なること。
・寮、部屋の割り振りは、研修先到着日に割り振られる場合が多いこと。
・ルームメイトの国籍は様々であること（ルームメイトは同性）。
・フラットメイト（ベッドルームは別で、キッチン・バスルーム等の共有部分を共同で使う学生）の国籍、及び性別は様々で、異性と共有部分をシェアして暮らす場合があること。
・食事は原則提供されないこと。［自費部分］
・日用品（食器・調理器具・リネン類・タオル類・洗濯用品等）は持参するか現地で購入する等、各自準備する必要があること。［自費部分］
・各寮の取り決めに従って生活を送らなければいけないこと（門限、禁煙、掃除・洗濯のルール、防火等々）。
・原則全ての寮は禁煙であること。

＜ホテル滞在に関する注意事項＞

・研修先大学がホームステイ・寮の手配を行わない場合、本学提携の旅行会社等が手配した中・長期滞在型のホテルに滞在する場合があること。なお、行程により一時的にホテル滞在を含むプログラムもある。
・部屋割りの希望は、受け付けられない場合があること。
・食事は原則提供されないこと。［自費部分］
・ホテルからの提供がない日用品（食器・調理器具・洗濯用品等）は持参するか現地で購入する等、各自準備する必要があること。［自費部分］
・ホテルの取り決めに従って生活を送らなければいけないこと（禁煙、掃除・洗濯のルール、防火等）。

2027年度ドイツ語・異文化理解ＥＵキャンパスプログラム詳細

テュービンゲンについて

テュービンゲンは南ドイツ・バーデン＝ヴュルテンベルク州に位置する「大学町」です。人口は約9万人のうち学生が3分の1を占めます。よく「小さくて大きい町」といわれるテュービンゲンは様々な顔を持っています。旧市街には中世の街並みが丁寧に復元されている一方、中央駅付近には意欲的なモデルプロジェクトで開発された「フランス地区」などの現代的で活気ある住宅地区があります。町の中にはネッカー川が流れ、小舟による川下りは名物の一つです。バーデン＝ヴュルテンベルク州の州都であり、ダイムラーなどの有名企業が本拠を置くシュトゥットガルトは電車で1時間で行ける距離にあります。

テュービンゲン大学について

テュービンゲン大学は1477年に設立されました。同志社創立者の新島襄もこの大学の水準の高さを認識していました。今日では、大学には7学部、約80の課程があり、リベラル・アーツから、ライフ・サイエンスなどの新しい学問まで、幅広く学ぶことができます。文系学部は町の中に点在していて、町全体がまさにキャンパスになっており、テュービンゲン大学付属病院では最先端の医療が試みられています。またテュービンゲンには、マックス・プランク研究所をはじめ著名な研究施設も数多くあり、学問の地として世界的に知られています。

1．科目名・担当教員・単位数・科目区分

科目名	クラス	担当教員	単位数	科目区分
セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ	－	Bettina GILDENHARD	各4単位	外国語教育科目
Intercultural Studies	－	Regine DIETH	2単位	国際教養科目
ＥＵキャンパス特別講義	001	Regine DIETH	2単位	国際教養科目
	002	未定	2単位	国際教養科目

※上記科目はすべて春学期科目です。合計14単位のセット登録となります。
（科目・単位の取扱いについては所属学部事務室に問い合わせること）

2．事前授業

科目名	クラス	回数	概要
セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ	－	未定	日常使うドイツ語力を高めるとともに、ドイツの社会と文化について各自が調べ、グループプレゼンテーションをしながら学びます。
Intercultural Studies	－	1回実施予定	異なる文化や価値観を持つ人々や社会を理解し、自らの文化や価値観を相手に理解してもらうための基本を学びます。
ＥＵキャンパス特別講義	001	6回実施予定	「食」を切り口として、ドイツの歴史、政治・経済、社会問題について学びます。グローバリゼーションや世界情勢が、食料生産、食生活、自然環境等にどのような影響を及ぼすかを考察し、また、現地での自習調査プロジェクトに向けた基礎知識を身につけます。
	002	未定	未定

※事前授業はすべて2月末日の渡航日までに実施されます。　≪必ず全て出席してください≫
日程（曜日・講時）・教室については決定次第お知らせします。また、出発前に行われる危機管理オリエンテーション（実施日は後日案内）への参加も必須となります。

３．プログラム概要

科目名	クラス	クラス構成	研修内容
セメスター プログラム・ ドイツ語Ⅰ、Ⅱ	－	テュービンゲン大学への交換留学生との共修授業 ※3月～4月中旬は同志社大学生のみ	3月～4月中旬に同志社大学生のみでドイツ語の集中講義を行い、その後ドイツ語のプレイスメントテストが行われます（※）4月下旬から習熟度別のクラスで、テュービンゲン大学の留学生とともに学びます。授業はドイツ語のみで行なわれます。また、ドイツの省庁、公共施設などへのフィールドトリップが4回実施されます。
Intercultural Studies	－	テュービンゲン大学日本学科の学生との共修授業	日本とドイツ、アジアと欧州の共通点や相違点等の理解を深め、多様な価値観に触れ、受講生自らの世界観を磨くことを目的とします。授業は主に日本語で行われ、補足的にドイツ語、英語を使用します(予定)。
ＥＵキャンパス 特別講義	001	原則として同志社大学生のみであるが、テュービンゲン大学の学生、院生、留学生等が聴講する場合がある	「食べ物とグローバリゼーション」をテーマに、食を商品として扱うグローバルな政治経済による社会･環境問題等を考察します。テュービンゲン近郊の農業、流通、伝統食、環境、消費への影響を学び、各自調査やフィールドワークを行います。 授業は日本語で行われます。
	002	原則として同志社大学生のみであるが、テュービンゲン大学の学生、院生、留学生等が聴講する場合がある	テーマは現時点では、未定。

※セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱでは、3月～4月上旬のドイツ語の集中講義後に実施されるドイツ語のプレイスメントテストで、CEFR A2レベル以上に達する必要があります（要件に満たない場合は、ドイツ語科目の履修継続ができない可能性があります)。

４．時間割

科目名	クラス	授業期間	授業時間
セメスター プログラム・ ドイツ語Ⅰ、Ⅱ	－	3月～7月	3月～4月中旬 月・水・金： 9:30～15:30（3コマ） 火・木　　： 9:30～12:45（2コマ） 4月下旬～7月 月～金曜：1日2コマ程度 ※クラスによって授業時間が異なる為、詳細は現地到着後案内します。 ※上記以外に空き時間に週1コマの Language skills training を実施する。
Intercultural Studies	－	4月下旬～7月	週1コマ
ＥＵキャンパス 特別講義	001	6月中旬～ 8月上旬	オンライン授業（リアルタイム） 1回(6月中旬) 対面授業(現地)やフィールドワーク 6回(7月上旬) 自習調査プロジェクト(6月～7月) オンライン授業（リアルタイム）プロジェクト結果の発表2回（7月末･8月上旬） （予定）
	002	4月～8月	週1-2コマ

※2026年9月時点の予定の為、時間割は今後変更される可能性があります。
※上記以外にテュービンゲン大学の学部生向けの科目を聴講することが可能。4月に科目登録期間が設定されているため、各自の希望に応じてＥＵキャンパスプログラムの時間割に重複しない範囲で聴講を認める。

５．その他

宿泊先：大学寮

食事：無（参加費用に含まれない）

同行員：同志社大学の教職員や添乗員は同行しません。
※テュービンゲン大学内の同志社ＥＵキャンパスに同志社大学専属の職員が常駐。
※往路：フランクフルト空港～テュービンゲン大学、復路：テュービンゲン大学～フランクフルト空港は、旅行会社のガイドの方によるサポート有り。

参加費用

●含まれるもの：往復航空券／航空保険料・燃油費／日本・現地空港諸税／海外旅行保険料（日本）／医療保険料（ドイツ）／プログラム費
※プログラム費には、寮費（リネン・敷金含む)、事務諸経費等が含まれます。現地授業料は同志社大学が負担します。敷金は修繕などの必要がなければ、プログラム終了後に寮の管理会社より返還されます。

●含まれないもの：※上記のほかは含まれません。参考のためにその一部を例示します。
超過手荷物料金／日本国内での移動にかかる交通費／現地通学費／入学手続き、ドイツ滞在申請の為の費用／ビザ申請にかかる費用／食費／その他個人的生活費用

費用の支払い：参加決定者には、旅行会社より費用納入の請求書が郵送されますので、指定された期日までに納入してください。

査証：日本や EU 加盟国の国籍を有する人は、ビザなしでドイツに入国した後に、長期滞在許可を申請します。上記以外の国籍を有する方は、ドイツ入国前にビザ申請をしなければならない可能性があります。その場合の手続きはご自身で行っていただきます。

日　程

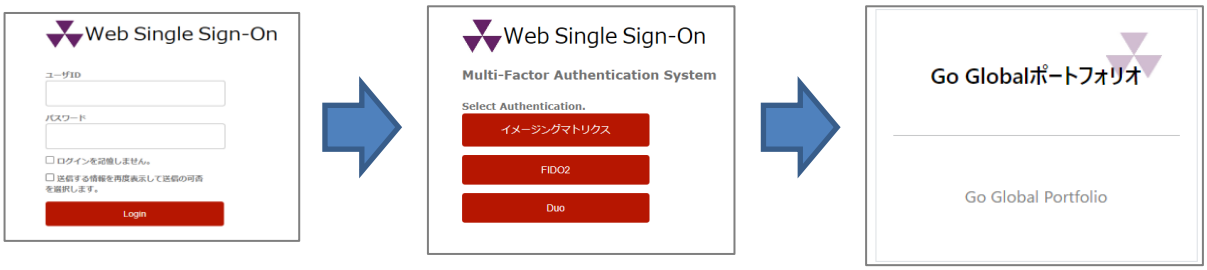
※2026 年 9 月時点の予定の為、航空便、行程は変更される可能性があります。

2/28	関西国際空港出発 機中泊	5/15 ↓ 5/23	ペンテコステ休暇予定 大学寮泊
3/1	香港空港経由→フランクフルト空港着 フランクフルト空港→テュービンゲン大学 ※専用車にて大学寮へ移動 入寮手続き　大学寮泊	5/24 ↓ 8/4	プログラム期間 大学寮泊
3/2	入学手続き、医療保険加入手続き オリエンテーション他 大学寮泊	8/5	テュービンゲン大学出発→フランクフルト空港着→フランクフルト空港出発 ※空港へは専用車にて移動 機中泊
3/2 ↓ 5/14	プログラム期間 大学寮泊	8/6	香港空港経由→関西国際空港到着 ※到着後解散

【短期留学】WEB出願

※注意：スマートフォンでは正しく動作しないため、必ずPCで出願をしてください。

①「Go Global Portfolioシステム」へログイン（https://sso.doshisha.ac.jp）にアクセス
※ユーザーID/パスワード ：「ユーザID通知書」に記載の「ユーザID/PASSWORD」を参照

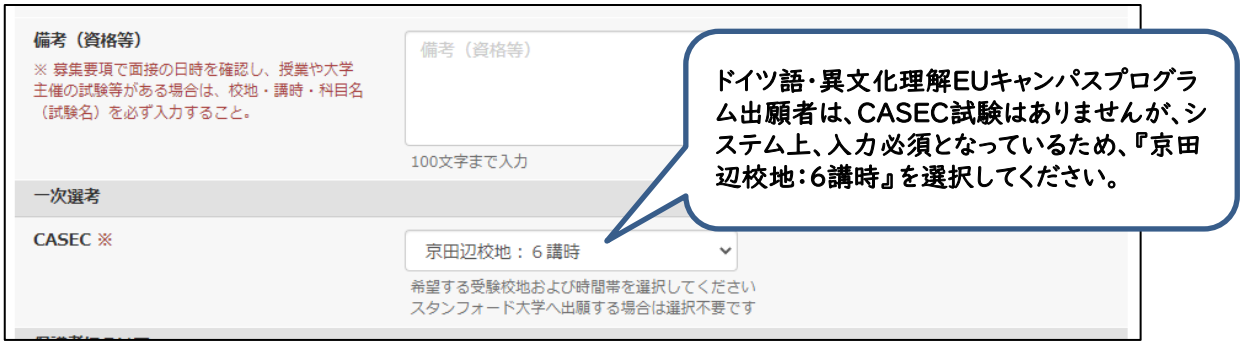


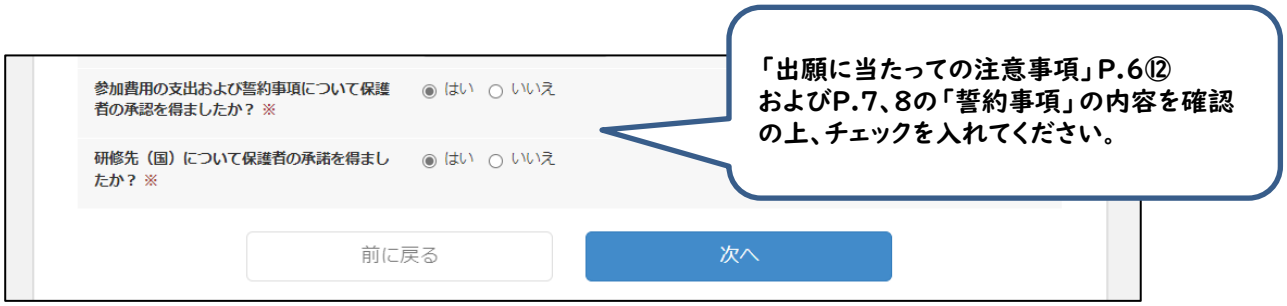
②【出願前】「短期留学プログラム」をクリック

③【出願前】「WEB出願」をクリック

④【出願前】「短期留学プログラムWEB出願TOPページ」
・・・「出願日程」→「2027 セメスタープログラム」→「出願する」をクリック

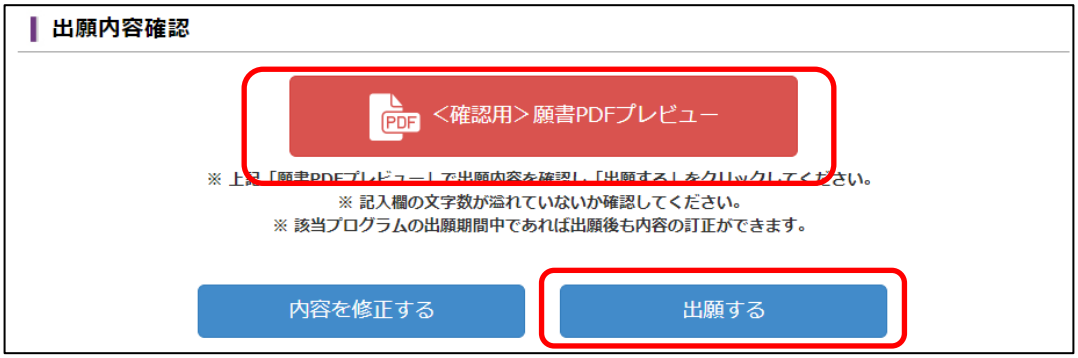
⑤【出願中】基本情報を入力の上、「次へ」をクリック





⑥【出願中】志望理由書を入力し、「次へ」をクリック

⑦【出願中】「<確認用>願書PDFプレビュー」より自身の願書の最終チェックをし、
問題がなければ「出願する」をクリック



⑧【出願後】出願した後も「願書PDFダウンロード」から自身の願書のチェックができます。
「内容を訂正」から出願期間中であれば内容の修正もできます。

⑨【出願後】出願した後はGo Global Portfolioの「マイポートフォリオ」にも願書が保存されます。
自分の出願したプログラムの「分類」に保存されているか確認しましょう。